

「東京都市大学シンポジウム in 上田」参加報告



東京都市大学 柏門技術士会
会長 小林洋一

去る4月27日、長野県上田市の上田創造館で開催されました「東京都市大学シンポジウム in 上田」に柏門技術士会の一員として参加してきました。

上田市は大東急コンツェルンを一代で築いた五島慶太翁のふるさと小県郡青木村に近く、慶太翁にゆかりの深い東京都市大学にとって、その第一回目のシンポジウムを開催するに相応しい地でありました。

開会にあたりましては、北澤宏一学長と母袋創一上田市長のご挨拶がありました。北澤学長からは、東京都市大学の生い立ちの説明；武蔵工業大学と東横学園女子短期大学を前身校として持ち、平成21年に両大学を統合、現在は6学部18学科を有する総合大学になったこと。また、長野県内においては、東京都市大学塩尻高等学校野球部の平成23年夏の甲子園出場、そして、女子バレーボール部の春高バレーでの活躍についてのご紹介などがありました。

今回のシンポジウムは、以上のような背景もありましたが、長野県飯山市ご出身の北澤学長の熱意により開催に漕ぎ着けました。ご挨拶に引き続き行われました講演は以下の通りです。

☆「世界的大発明と活かすべき日本の特許と技術」

理化学研究所名誉研究員 丸山瑛一 博士（上田市ご出身）

☆「昆虫少年がノーベル化学賞を受賞するまで」

筑波大学名誉教授 白川英樹 博士

今回の上田行きに際しましては、当日早朝に自由が丘の武蔵工業会館前に集合、校友会、如学会、柏三水会の皆様方、そして柏門技術士会（皆川勝 S56 土木修了卒、松田洋紀 S43 土木卒、近藤晴雄 S53 電気修了卒、小原丈二 S55 土木と小林 S48 電気卒の5名）のメンバー総勢20名程で、チャーターバスにより上田市を目指しました。シンポジウム終了後は上山田温泉に宿泊、翌日は善光寺や川中島古戦場等の名所巡りをしながら、大いに「^{むさこう}武工大」の絆を深めることが出来ました。 了